

春 ようこそ!!

学童保育へ

編集部

*学童保育は地域によつて「学童クラブ」「子どもクラブ」「児童ホーム」「育成室」など、さまざまな名称で呼ばれています。国は、「放課後児童クラブ」と呼んでいます。

四月、新たな出会いの季節です。はじめて学童保育と出会う子どもと保護者の方々、そしてすでに学童保育で生活している子どもたちも、新しい関係のはじまりに、さまざまな思いを抱いていることでしょう。

ここでは、学童保育の成り立ちと制度の移り変わりをふり返るとともに、学童保育の役割をたしかめ、「一人ひとりの子どもが充実した生活をおくれるように、保護者と指導員が力をあわせることの大切さ」をお伝えします。

子どもたちの「生活の場」

子どもたちは学童保育で、どのように過ごしているのでしょうか。

「たぐいまー!」と学童保育に帰ってきた子どもたちを、指導員が「おかえり!」と迎えます。子どもたちは毎日の「生活の場」である学童保育で、遊んだり、宿題をしたり、困らんしたり、一緒におやつを食べるなどして放課後の時間を過ごします。また、疲れていたたり体調が悪いときには、心身を休めて過ごします。みんな近く公園に遊びに行ったり、一日保育の日に昼食づくりを行う学童保育もあります。

学童保育は、安心して過ごせる「生活の場」であることが必要です。私たちは、子どもが必要とする期間、学童保育に通いつづけられるように支えるとともに、保護者と指導員、そして保護者同士が信頼関係を築き、共に子育てをしていくことを大切にし

つづきは本誌をくらんでください

